



つながり



「南予教育を考える集い」

11月14日（火）に、愛媛県歴史文化博物館で開催されました。

今年度は、松山市にお住いの国際理解コーディネーターである中矢匡さんを講師にお迎えし、「地球の上に生きる～80カ国で出会った人々～」と題して御講演をいただきました。

教職経験をお持ちの中矢さんは、20代から世界を旅され、その国の人々と直接関わり合いながら、生活していたそうです。災害、紛争の中で必死に生きている世界の人々と直接関わり続け、間近で支えてこられた中矢さんだからこそ伝えられる、「命の大切さ」、「生きるとはどういうことか」について、しっかりと学ばせていただきました。



〈オープニング〉

「世界の友達を紹介!」ということで、モロッコやブータンなど様々な国の民族衣装を着た方々が登場しました。その国の挨拶を参加者全員で言い、親睦を深めたところで、最後に手をつないではい、ポーズ!



〈講演〉

中矢さん御自身も、様々な国の民族衣装を身にまといながら、訪れた国々で出会った心に残る人々との楽しく、時には悲しかった思い出の数々や、そのとき中矢さんが感じたこと、考えたことを、当時の写真をスライドで示しながら丁寧に語っていただきました。



現地での実体験を基にしたお話の数々は、聴く人の心を打つものばかりで、参加者からは自分の生き方や考え方を大きく揺さぶられたという感想をたくさんいただきました。

〈参加者の感想〉

世界を渡り歩かれた経験の話を聞いて、自分自身、いつまでも視野を広げていかなくてはならないなと感じました。	いろいろな体験を実際にされてきた話は心に響きました。人のために何かをすることの大切さを痛感しました。
多くの国を見てきた中矢さんの視点や厳しい現実に向かう姿…感銘を受けました。まずは使わないおもちゃを集めて送ります!	児童が国際的視野に立って、「今の自分が何ができるのか」を考えるきっかけになると思います。ぜひ、たくさんの児童・生徒に聴いてほしい内容でした。
中矢先生の実体験から、人の生き様について、多様な価値観を伝えていただき、気持ち washareると共に、高ぶるものがありました。講演から受けた感銘を、教育活動に生かしていきたいと強く感じました。	貴重な体験を踏まえてのお話で時間が過ぎるのがあっという間でした。特に「生き方・命」に関しての教育に強くつながるものでした。私自身の生き方も考えさせられ、何度でも聞きたい内容でした。

「南予教育を考える集い」も今年で16回目となりました。今後も参加者の皆様にとって有意義な機会となるよう、様々な方を講師に招いて講演会を実施してまいります。次回も、多数の御参加をお待ちしております。